

JAPANESE

イスラーム と自由の広がり

イスラームは全人類への導きとして1400年以上も前に到来し、それらの概念を覆し変えてきました。奴隷たちに最良の形で接することに始まり、奴隷解放へと至らせる様々な制度が制定されていきました。そのなかには、身体的に危害を加えたり屈辱を与えることは犯罪であり、贖罪として奴隷解放を義務付けたことが挙げられます。預言者ムハンマドは言いました。

(彼に祝福と平安がありますように)

「だれでも自分の奴隷を平手打ち、あるいは殴った者の償いは、彼を解放することである。」(ムスリム1657)

イスラームが到来した当時、奴隷たちは軽蔑され、価値も権利もない存在で、尊厳も完全に失われていました。労働中に逃亡しないように枷で拘束することは問題のない事でした。喜びや楽しみのためであれば死んでも殺しても問題なく、ローマの有名な闘技場コロッセウムで権力者たちの欲求と楽しみのために奴隷たちを死ぬまで闘わせていたのです。



LAUNCHING
CURIOSITY
JUST SCAN IT!!



THIS IS
ISLAM

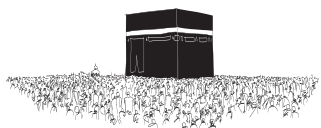
イスラーム



600年

奴隷解放、丁重な扱い、教育、彼らの前に立ちはだかる障害を取り除くための万全な計画。

アメリカの有名なリンカーンの奴隷解放宣言は1863年のことで、その後、さまざまな手続き、戦争があり、表面的には奴隷解放はされたものの、人種差別とその悪影響はその後100年以上も残り続けました。そして南アフリカのアパルトヘイト(人種隔離政策)は1990年—1993年の間にようやく廃止されたのです。イスラームは、14世紀も前に奴隷制の撤廃や奴隷解放のための完成された計画、制度をもたらし、それは奴隷制につながる可能性を狭め、奴隷解放につながる可能性を広げる、という方法に依拠されているのです。



630年

イスラームの使徒ムハンマド

「人々よ、まことにあなたがたの主は唯一である。そしてあなた方の父祖は一人である。アラブ人が非アラブ人より優れているわけではないし、非アラブ人がアラブ人より優れているわけでもない。そして白人が黒人より優れているわけでも、黒人が白人よりも優れているわけではない。(優劣があるとすれば)敬虔さにおいてのみ。」

アメリカ



1863年

リンカーンの有名な奴隷解放宣言

たとえば、クルアーンには奴隷を解放し自由にするのを命じる節が数十節もある一方で、奴隷制を命じる節は一節もないのです。

このような人を自由にするための数多くの法制度は、イスラーム以外の他の法にはありませんでした。およそすべての贖罪は(罰則や制裁措置、なにか行うことを誓った後で破るなどした場合)、奴隷を所有しているのであれば解放することにはじまり、所有していなければ、経済的に可能である限り奴隷を買い取り解放する義務があるのです。



1948年

自由、権利、

尊厳において人は平等であることが採択された
世界人権宣言

“
アッラーの使徒は言いました。(彼に祝福と平安あれ)
「あなた方の兄弟は、あなたがたに従い世話をしている。アッラーが、彼らをあなた方の保護下に置いたのだ。誰でも兄弟が保護下にある者は自分の食べ物から食べさせ、自分の衣服と同じものを着せなさい。彼らが負担しきれないような重荷を課してはいけない。負担しきれない事を課したのなら協力しなさい。」
(ブハーリー2407)

そして、奴隷を解放することの徳も強調しました。彼らの宗教がなんであれ、特に理由などなくとも、奴隷解放をアッラーの御許における最良の行いの一つとしたのです。

「だれでも奴隷を解放した者は、解放した奴隷の身体部位に応じて、アッラーが(解放した人の)各身体部位を火獄から解放してください。」(ムスリム1509)

また、奴隷自身が解放されることを望み、働き、賃金を貯めて自らを買いとることを求めた場合、奴隷の所有者に対し、その要求に応じることを義務付けました。

その他にも、奴隷全てを解放し、彼らの生活水準を底上げし改善するための計画へと後押しする規定が豊富にあるのです。

南アフリカ



1990年

アパルトヘイト(人種隔離政策)の撤廃

アッラーの使徒の礼拝呼び掛け人は(アザーンをする人、重要な宗教的役割の一つ)、元奴隷の一人でした。

特定の肌の色をした大統領がいることに依然として世界が驚き拍手喝采している中、既に西暦7世紀には、解放奴隷出身のイブン・アブザーという名の人物が、ムスリムたちの牙城でありイスラーム発祥の地でもあるマッカの長に任命されていたのです。



1957年、最初の黒人女学生が白人たちの嫌悪と拒否反応の中で白人たちの学校に受け入れられたことが思い起こされますが、14世紀も前にマッカで最も偉大な学者であり、ハッジ(巡礼)の事柄についてすべての人たちがその意見に従っていたアター・イブン・アビーラバーハを私たちは忘れてはいけません。彼はアフリカ出身の男で、父親はイスラーム初期に奴隷の身分から解放された人物でした。近代の歴史において、ここ数十年前まで、世界はそのような事例を知りませんでした。